

令和2年度 島根県電源立地地域対策交付金 実績一覧（間接交付事業）

	自治体	事業名	事業費(円)	交付金(円)
1	出雲市	林道向名線落石対策工事	8,593,200	6,055,000
2	益田市	市道横田住宅団地1号線道路改良事業	7,173,100	6,342,000
3	安来市	布部おどころ水路改修工事	2,536,600	2,536,600
4		布部おどころ水路測量設計業務	1,870,000	1,870,000
5	江津市	江津市立保育所運営事業	5,557,500	4,502,000
6	雲南市	市道湯坪線道路修繕工事	1,202,300	1,202,300
7		自治会施設等整備補助金(石自治会集会所空調設備更新)事業	292,600	292,600
8		自治会施設等整備補助金(野谷自治会除雪機収納庫整備)事業	184,800	184,800
9		鍋山交流センター和室床改修工事	1,771,000	1,771,000
10		自治会施設等整備補助金(吉田町交流センター(吉田・田井・民谷)防災備品整備)事業	2,977,590	2,977,590
11		掛合町防災備品・備蓄倉庫整備事業	1,133,000	1,133,000
12		森脇堰用水路修繕事業	737,000	737,000
13		成畑生活改善センター横用水路改修工事	1,184,700	1,175,900
14		自治会施設等整備補助金(門自治会ゴミ集積倉庫及び集会所改修工事)事業	1,335,400	1,335,400
15	バス停留所標識柱設置事業	1,540,000	1,540,000	
16	奥出雲町	大仁農道舗装改修工事	7,323,800	4,435,000
17	飯南町	町道頓原長谷線舗装修繕工事	6,276,600	6,256,000
18	美郷町	ゴールデンユートピアおおち維持運営事業	13,333,333	10,223,000
19	津和野町	道路維持機械購入事業	5,090,000	4,538,000
20	吉賀町	学校教育用施設備品整備事	2,838,000	2,200,000
21		学校環境改善用施設備品整備事	1,197,020	1,000,000
22		学校給食調理場運営事	1,183,449	1,000,000
23		学校給食用備品整備事	278,300	200,000
計			75,609,292	63,507,190

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	林道向名線落石対策工事	出雲市	6,055,000	6,055,000	総事業費 8,593,200円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称																													
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	林道向名線落石対策工事																													
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		出雲市																													
交付金事業実施場所		出雲市乙立町																													
交付金事業の概要	<p>林道向名線は、一級河川神戸川左岸の殿川内集落と右岸の向名集落を繋ぐ、総延長2,340mの林道です。集落間を連結する主要な生活道として昭和35年に開設され、現在では林業施業する人や通勤通学等地域にとって大切な路線となっています。</p> <p>林道開設時においては、段丘崖を切削することにより道路を整備し、転石などは見受けられませんでした。その後の降雨等により段丘崖の風化が進み、現在、林道斜面に比較的大きな転石・浮石群が存在するとともに、ここ数年毎年数回、こぶし大の落石が発生しており、けが人は出でいませんが、交通に支障を及ぼしている状況です。</p> <p>落石は、神戸川左岸（A工区）80m及び右岸（B工区）440mにおいて発生しており、この内落石発生頻度の高いA工区内の38m及びB工区内の47mについて、年次的に落石対策を実施しています。</p> <p>平成28年度から平成29年度において、特に落石が多発しているA工区A箇所L=25.6mの対策を行い、本年度は、落石頻度が高く地元要望が強いB工区47mの落石防護網工を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事延長L=47m、落石防護網工A=387.6㎡ <p>A工区B箇所は、崖部の亀裂が発達し岩盤がはく離しやすく、緊急度の高い状況です。しかし、落石発生源が限定され、崖部から車両実走行帯まで2m程度余裕があります。</p> <p>《全体計画》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">工区・箇所</th> <th>延長</th> <th>工事内容</th> <th>施工年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A工区</td> <td>A箇所</td> <td>L=25.6m</td> <td>現場吹付法砕工 A=154.9㎡</td> <td>H28-29</td> </tr> <tr> <td>B箇所</td> <td>L=11.6m</td> <td>覆式落石防護網工 A=108.0㎡</td> <td>R3以降</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B工区</td> <td></td> <td>L=47.0m</td> <td>ポケット式落石防護網工 A=387.6㎡</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>L=4.0m</td> <td>ロープ伏工 A=24.0㎡</td> <td>R3以降</td> </tr> <tr> <td colspan="2">全体計画</td> <td>L=88.2m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			工区・箇所		延長	工事内容	施工年度	A工区	A箇所	L=25.6m	現場吹付法砕工 A=154.9㎡	H28-29	B箇所	L=11.6m	覆式落石防護網工 A=108.0㎡	R3以降	B工区		L=47.0m	ポケット式落石防護網工 A=387.6㎡	R2		L=4.0m	ロープ伏工 A=24.0㎡	R3以降	全体計画		L=88.2m		
工区・箇所		延長	工事内容	施工年度																											
A工区	A箇所	L=25.6m	現場吹付法砕工 A=154.9㎡	H28-29																											
	B箇所	L=11.6m	覆式落石防護網工 A=108.0㎡	R3以降																											
B工区		L=47.0m	ポケット式落石防護網工 A=387.6㎡	R2																											
		L=4.0m	ロープ伏工 A=24.0㎡	R3以降																											
全体計画		L=88.2m																													

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>出雲市総合整備計画「出雲未来図」（平成24年度～平成33年度） 後期基本計画（平成29年度～平成33年度） 第3章 産業・観光都市の創造 2 農林水産業の振興と発展 (4) 農業基盤整備事業 ⑤林道整備事業 林道の機能向上及び農山村地域の環境改善等を図るため、県営事業を活用し林道の開設並びに整備を行います。</p>						
<p>事業開始年度</p>	<p>令和2年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>			<p>令和2年度</p>	
<p>事業期間の設定理由</p>							
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度</p>	<p>令和2年度</p>	
	<p>林道向名線の落石対策が必要なB工区における落石対策済延長の割合 (%) 92%</p>	<p>(B工区落石対策済延長 (m) / (落石対策が必要なB工区的全延長 (m)) × 100 (%)</p>	<p>成果実績</p>	<p>%</p>	<p>92</p>		
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>92</p>		
			<p>達成度</p>	<p>%</p>	<p>100</p>		
	<p>評価年度の設定理由</p>						
	<p>林道向名線における落石対策箇所B工区(L=47.0m)の対策完了期間</p>						
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>						
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>							
<p>無</p>							
<p>交付金事業の活動指標及び活動実績</p>	<p>活動指標</p>			<p>単位</p>	<p>令和2年度</p>	<p>年度</p>	<p>年度</p>
	<p>林道向名線落石対策工事進捗量</p>		<p>活動実績</p>	<p>m</p>	<p>47</p>		
			<p>活動見込</p>	<p>m</p>	<p>47</p>		
			<p>達成度</p>	<p>%</p>	<p>100</p>		

交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考
総事業費	8,593,200			
交付金充当額	6,055,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	6,055,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
落石対策工事	指名競争入札	(有)門脇組 (出雲市)	8,593,200	
計			8,593,200	
交付金事業の担当課室	出雲市農林水産部農林基盤課			
交付金事業の評価課室	出雲市農林水産部農林基盤課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道横田住宅団地1号線道 路改良事業	益田市	6,342,000	6,342,000	総事業費 7,173,100円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道横田住宅団地1号線道路改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		益田市
交付金事業実施場所		益田市横田町
交付金事業の概要	<p>本事業は市道横田住宅団地1号線のうち、起点側の120mの区間の道路改良を行う事業です。本年度は一部区間の道路改良工事を行います。</p> <p>益田市の管理する市道横田住宅団地1号線は、総延長320m、道路幅員2.8~4.3mの歩道の無い車道だけの幅員狭小道路です。「横田住宅団地」と呼ばれる40棟近くの家屋が密集する団地内の基幹道路です。このうち特に、市道の起点側120mの区間は団地内への出入りのための唯一のルートとなっています。</p> <p>一方で、起点側120mの区間は幅員が4mに満たず、最小幅員3.6mと狭小で、車両同士の円滑な離合が困難な状況となっており、接触事故等、兼ねてから安全性に懸念があります。</p> <p>一般的には道路を拡幅改良することで離合の困難は解消されますが、起点部に防火用貯水池があるうえ、拡幅工事を行った場合、工事期間中の迂回ルートが無く、団地内への車両の進入が困難となる等の課題がありました。</p> <p>このほど、当該市道沿線の市営住宅が老朽化のため他地区へ移転となり、また、市営住宅と市道用地との間の私有地の買収も令和元年度に行ったことから、当該区間の改良については、現道を維持しながら並行するバイパス的な道路改良整備が可能となりました。</p> <p>このため、本交付金を活用することにより、当該区間について、幅員5.0mのバイパス的な道路を改良整備し、団地内を出入りする車両同士の安全な離合を可能とし、日常生活の利便性向上を図ろうとするものであります。</p> <p>平成30年度より本交付金事業を財源の一部として活用して、道路整備のための調査設計として、当該整備予定区間120mの測量を行い、ルート決定、並びに道路設計のための平面図作成、路線測量(中心線測量、縦断測量、横断測量等)を行い、(ルート決定、路線測量、道路設計については市単独事業で実施)用地測量を行い用地取得を行いました。</p> <p>本年度より道路改良工事に着手します。 (令和2年度の実施内容) 施工延長 L=75m、側溝工 L=25m、集水柵工 N=3箇所、アスファルト舗装工 A=22m²</p> <p>次年度も引き続き工事着手を行い、令和4年度の供用開始を目標として事業を進めていく予定です。</p>	
	<p>本年度より道路改良工事に着手します。 (令和2年度の実施内容) 施工延長 L=75m、側溝工 L=25m、集水柵工 N=3箇所、アスファルト舗装工 A=22m²</p> <p>次年度も引き続き工事着手を行い、令和4年度の供用開始を目標として事業を進めていく予定です。</p>	

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>第5次益田市総合振興計画後期基本計画(平成28年度～平成32年度) 基本目標4 地域間の連携や交流を促す基盤が整備されたまち 基本施策1 市内外のアクセスを確保する道路網を整備します 5)市道・農道・林道の整備 ・地域の生活道路は、既存の道路の維持・管理に努めるとともに、必要に応じ新設・改良を進め、市民の日常生活の利便性の向上を図ります。 目標:施策の満足度(満足している人の割合) 現状 29.7% 目標 40%以上</p>						
<p>事業開始年度</p>	<p>平成30年度</p>		<p>事業終了(予定)年度</p>		<p>令和4年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>	<p>平成30年度に測量、設計を行い、令和元年度に、用地測量、用地取得、令和2年度以降に電柱等の工作物支障移転、並びに工事着手を行い、令和4年度の供用開始を見込むため。</p>						
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度</p>	<p>令和4年度</p>	
	<p>市道のうち幅員が狭く離合が困難な箇所の解消。</p>	<p>整備が完了した区間÷整備予定区間</p>	<p>成果実績</p>	<p>%</p>			
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>100</p>		
			<p>達成度</p>	<p>%</p>			
	<p>評価年度の設定理由</p>						
	<p>市道横田住宅団地1号線道路改良工事が完了し供用が開始されるのが令和4年度であるため。</p>						
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>						
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>							
<p>交付金事業の活動指標及び活動実績</p>	<p>活動指標</p>			<p>単位</p>	<p>令和2年度</p>	<p>年度</p>	<p>年度</p>
	<p>側溝の整備延長</p>		<p>活動実績</p>	<p>m</p>	<p>25</p>		
			<p>活動見込</p>	<p>m</p>	<p>25</p>		
			<p>達成度</p>	<p>%</p>	<p>100.0</p>		

交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
総事業費	1,962,360	3,495,499	7,173,100	総事業費23,000,000円(予定)
交付金充当額	991,160	3,495,499	6,342,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	991,160	3,495,499	6,342,000	
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	市道横田住宅団地1号線道路改良工事	指名競争入札	有限会社共同開発(益田市)	7,173,100
	計			7,173,100
交付金事業の担当課室	益田市建設部土木課			
交付金事業の評価課室	益田市建設部土木課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	布部おどころ水路改修工事	安来市	2,536,600	2,536,600	総事業費 2,536,600円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	布部おどころ水路改修工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安来市
交付金事業実施場所	安来市広瀬町布部	
交付金事業の概要	<p>市の中央部に位置する、広瀬町布部の横手地区は、中山間地で水稻を中心とする農耕地域であり、おどころ水路は、この地区への基幹水路として機能しており、農地の用水取得等に重要な施設です。これまで、この水路の維持管理については、地元住民が行ってきましたが、落ち葉、枯れ木等の堆積がひどいというえに、急斜面にある施設であり、受益者の高齢化も顕著で管理が難しい状況にあります。それにより令和2年度、令和3年度の2年度にかけて改修を行います。なお、現状の課題と地元全体の要望を取りまとめたうえで、施設の改善方法を受益者と一緒に検討し、この度の改修を行うことで、安定的に水が供給されることにより、効果的に営農活動の活性化を図っていきます。</p> <p>中山間地域においては、農家の高齢化・担い手不足が深刻となっています。今回の工事により、水利環境をはじめとする耕作地の環境改善を図ることにより、耕作放棄地の減少、多様な担い手の育成・確保（農業後継者、新規就農者、企業参入等）を推進していきます。</p> <p>土工 掘削 45.5m³ 土工 埋戻 41.0m³ 側溝工 47.0枚 管渠 露出 L=160.0m 管渠 埋戻 L=50.0m</p>	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【交付金事業に係る主要政策・施策】 第2次安来市総合計画（平成28年～令和7年） 基本理念 活力・快適・らしさ・つながり・安心 基本政策 みんなで支えあうまちづくり／第4章 産業・観光・雇用／第1節 農林水産業の振興／ 方向 営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する</p>					
事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度	
	おどころ水路 における改修 工事により安 全に管理でき る水路の延長 の割合 (47%)	おどころ水路 における改修 工事により安 全に管理でき る延長／水路 の総延長	成果実績	%	47	
			目標値	%	47	
			達成度	%	100.0	
	評価年度の設定理由					
	事業完了後、速やかに評価を実施するため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
—						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	年度	年度
	おどころ水路の改修延長	活動実績	m	210		
		活動見込	m	210		
		達成度	%	100.0		
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考		
総事業費	2,536,600					
交付金充当額	2,536,600					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	2,536,600					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
水路改修工事		指名競争入札		株式会社 幸栄通産 (安来市)		2,536,600
		計				2,536,600
交付金事業の担当課室		安来市役所 広瀬地域センター				
交付金事業の評価課室		安来市役所 広瀬地域センター				

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	布部おどころ水路測量設計 業務	安来市	1,870,000	1,870,000	総事業費 1,870,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	布部おどころ水路測量設計業務
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安来市
交付金事業実施場所		安来市広瀬町布部
交付金事業の概要	<p>市の中央部に位置する、広瀬町布部の横手地区は、中山間地で水稻を中心とする農耕地域であり、おどころ水路は、この地区への基幹水路として機能しており、農地の用水取得等に重要な施設です。これまで、この水路の維持管理については、地元住民が行ってききましたが、落ち葉、枯れ木等の堆積がひどいというえに、急斜面にある施設であり、受益者の高齢化も顕著で管理が難しい状況にあります。それにより令和2年度、令和3年度の2年度にかけて改修を行います。なお、現状の課題と地元全体の要望を取りまとめたうえで、施設の改善方法を受益者と一緒に検討し、この度の改修を行うことで、安定的に水が供給されることにより、効果的に営農活動の活性化を図っていきます。</p> <p>中山間地域においては、農家の高齢化・担い手不足が深刻となっています。今回の工事により、水利環境をはじめとする耕作地の環境改善を図ることにより、耕作放棄地の減少、多様な担い手の育成・確保（農業後継者、新規就農者、企業参入等）を推進していきます。</p> <p>今回は、令和3年度に工事を予定している未改修部分の測量設計を行います。具体的には測量を行い、正確な距離を測ったり、高さを計測したりすることで、令和3年度の工事発注に必要な図面や数量計算書を作成します。</p> <p>測量設計延長 L=284.3m（上期施工分との取付け部分40mを含む）</p>	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【交付金事業に係る主要政策・施策】</p> 第2次安来市総合計画（平成28年～令和7年） 基本理念 活力・快適・らしさ・つながり・安心 基本政策 みんなで支えあうまちづくり／第4章 産業・観光・雇用／第1節 農林水産業の振興／ 方向 営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する					
事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和3年度	
事業期間の設定理由	令和2年度に測量設計を行い、令和3年度に工事を行うため。					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度	
	布部おどころ水路における改修工事により安全に管理できる水路の延長の割合（100%）	改修工事が完了した区間/改修予定区間	成果実績	%		
			目標値	%	100	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	令和3年度に工事を行い、事業完了後に評価を実施するため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	年度	年度
	おどころ水路の測量設計延長	活動実績	m	284.3		
		活動見込	m	280		
		達成度	%	101.5		
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考		
総事業費	1,870,000					
交付金充当額	1,870,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	1,870,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
布部おどころ水路測量設計業務		指名競争入札		(株)大建コンサルタント(安来市)		1,870,000
		計				1,870,000
交付金事業の担当課室		安来市役所 広瀬地域センター				
交付金事業の評価課室		安来市役所 広瀬地域センター				

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化 措置	江津市立保育所運営事業	江津市	4,502,000	4,502,000	総事業費 5,557,500

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	江津市立保育所運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		江津市	
交付金事業実施場所		江津市桜江町谷住郷	
交付金事業の概要	<p>少子化や核家族化の進行をはじめ、複雑化する社会のなかで、子育て家庭の孤立化が進んできており、子どもを産み育てやすい環境をつくるため、保育所の安定的な運営が求められています。</p> <p>そのなかで、江津市立谷住郷保育所は令和2年度の入所児童数は17人（定員30人）で、地域子育て支援センターとしての機能も有しており、子育ての不安の解消を図り、安心して子育てができる環境づくりに寄与しています。</p> <p>については、電源立地地域対策交付金を活用することにより、当該保育所での充実した保育体制の維持を図り、安心して子どもを産み育てられる環境をつくり、子育て世代の仕事と育児の両立を支援する体制の強化に努めます。</p> <p>保育士5名分の人件費、3ヶ月分</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】</p> <p>第6次江津市総合振興計画（令和2年度～11年度）</p> <p>基本方針3 健康で安心して暮らせるまちづくり</p> <p>施策3 子どもたちが健やかに育つための環境づくり</p> <p>（1）子育てサポートの充実</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>①地域全体における子育て支援の充実（重点プロジェクト）</p> <p>●子育てサポートセンター及び地域子育て支援センターの充実</p>		
事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度

事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度	
	入所希望児の 入所率 100%	入所希望児の 入所率：入所 児童者÷入所 希望児数×100	成果実績	%	100.0		
			目標値	%	100.0		
			達成度	%	100.0		
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後、早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	<p>交付金の活用により、保育士の安定的な雇用によって保育所での充実した保育体制の維持が可能となり、入所希望児の入所率100%について、達成することができた。今後も、保育士の安定的な雇用によって保育所での充実した保育体制の維持とともに地域子育て支援センターとしての機能を果たすことで、子育ての不安の解消を図り、安心して子育てができる環境づくりを図っていきます。</p>						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	
	保育士の雇用量数 (雇用人数(人)×雇用期間 (月))		活動実績	人月	15	15	
			活動見込	人月	15	15	
			達成度	%	100.0	100.0	

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	年度	備考
総事業費	5,544,600	5,557,500		
交付金充当額	4,613,000	4,502,000		
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,613,000	4,502,000		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
保育士人件費	雇用	保育士5名	5,557,500	
計			5,557,500	
交付金事業の担当課室	子育て支援課			
交付金事業の評価課室	子育て支援課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道湯坪線道路修繕工事	雲南市	1,202,300	1,202,300	総事業費 1,202,300円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道湯坪線道路修繕工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	島根県雲南市木次町湯村	
交付金事業の概要	<p>湯村連合自治会は、雲南市の中山間部に位置する地域であり、会員数178名（67世帯）・高齢化率45.36%（令和2年3月31日現在）と高齢化が進んでいる状況にあり、また周辺地域では、公共交通機関が発達していないため車での往来がほとんどです。</p> <p>雲南市が維持管理している市道湯坪線については、このような状況から近隣住民の重要な生活道路となっています。加えて、地域外から来られる方の宿泊・温泉施設へ向かうアクセスとしても利用者が多い道路です。その一方で、この道路には歩道がなく歩行者の通行には危険が伴います。また、市道湯坪線から宿泊・温泉施設へ向かうには、右へ180度カーブした後に急峻な下り坂を降りる必要があり、車両の通行にも困難が伴います。</p> <p>このような状況の中、当該箇所に設置されているガードレールの腐食が進んでいます。不慮の事故の際、車両がガードレールを突き破り落下する恐れがあります。車両の損傷や乗員の負傷を最小限に抑え、ガードレール下の歩行者への人的被害を防ぐため、ガードレールの取替が必要です。</p> <p>具体的な事業内容は、防護柵設置工によるガードレールの取替（L=30m、11m）を行います。</p>	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安心安全で快適なまち《定住環境》 施策17 交通安全の推進</p> <p>成果目標：運転したり、歩いたりして危ない（ヒヤっ）と感じた市民の割合 現状：71.1%（平成30年度実績） 目標：65.0%（令和2年度）</p>					
事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度	
	運転したり、歩いたりして危ない（ヒヤっ）と感じた市民の割合 65.0%	市民アンケートにおいて「運転したり、歩いたりして危ない（ヒヤっ）と感じた市民」項目にある、多少あると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%		
			目標値	%	65	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標		単位	令和2年度	年度	年度
	ガードレールの整備	活動実績		m	41	
活動見込			m	41		
達成度			%	100.0		

交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考
総事業費	1,202,300			
交付金充当額	1,202,300			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	1,202,300			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
道路の防護柵設置工事	指名競争入札	有限会社若槻建設（雲南市）	1,202,300	
計			1,202,300	
交付金事業の担当課室	雲南市木次総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室	雲南市木次総合センター自治振興課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金 （石自治会集会所空調設備 更新）事業	雲南市	292,600	292,600	総事業費 292,600

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（石自治会集会所空調設備更新）事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市	
交付金事業実施場所		島根県雲南市木次町平田	
交付金事業の概要	<p>石自治会は、雲南市の中山間部に位置する地域であり、会員数37名（13世帯）・高齢化率43.24%（令和2年3月31日現在）となっており、高齢化が進んでいる状況です。</p> <p>当自治会集会所は、自治会内の拠点として平成8年（1996年）8月に整備されました。当時、空調機器を3台（冷房機能のみ）設置されており、その後1台は（冷暖房機能付に）更新されておりますが、残りの2台がそのまま使用されております。</p> <p>この2台の空調機器については、設置から20年以上経過していることから機器性能の低下により温度管理が難しく、寒暖の著しい時期の施設利用については体調に支障をきたす恐れがあります。また、当集会所は自治会の発災時の第1次避難場所としての機能も有しており水害や豪雪などの有事の際には初期待機場所としての活用もあり、空調設備を更新することにより、安全かつ快適に利用することができます。</p> <p>以上のことから、空調設備を更新することにより自治会集会所の快適な環境づくりや避難場所としての機能維持を確保することで安心・安全な自治会の拠点施設としての更なる利用が見込めます。</p> <p>については、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。具体的な事業内容は、空調機器室内機と室外機を各2台ずつ更新をします。</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策Ⅰ みんなで築くまち《協働・行政経営》</p> <p>施策1 市民が主役のまちづくりの推進</p> <p>過去1年間に地域活動に参加した市民の割合</p> <p>現状：72.9%（平成30年度実績）</p> <p>目標：75.0%（令和2年度）</p>		
事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和3年度
	過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 75.0%	市民アンケートにおいて「過去1年間に地域活動に参加した市民」項目にあると答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%				
			目標値	%	75			
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和2年度	年度	年度	
	空調機器の更新台数 室内機、室外機 更新		活動実績	基	2			
			活動見込	基	2			
			達成度	%	100			
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	年度	備考			
総事業費	292,600							
交付金充当額	292,600							
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	292,600							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
補助金交付	補助	石自治会（雲南市）	292,600
計			292,600
交付金事業の担当課室	雲南市木次総合センター自治振興課		
交付金事業の評価課室	雲南市木次総合センター自治振興課		

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金 （野谷自治会除雪機収納庫 整備）事業	雲南市	184,800	184,800	総事業費 184,800円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（野谷自治会除雪機収納庫整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	島根県雲南市木次町平田	
交付金事業の概要	<p>野谷自治会は、雲南市の中山間部に位置する地域であり、会員数47名（20世帯）・高齢化率42.55%（令和2年3月31日現在）となっており、高齢化が進んでいる状況です。</p> <p>当自治会は、木次町内においても降雪・積雪量の多い地域です。積雪時には道路管理者である国・県・市において生活道路の除雪を行っていますが、消防施設や歩道、民家の木戸道等、細部までは十分に対応できない状況にあり、平成30年度電源立地地域対策交付金を活用し除雪機を整備しました。これにより、除雪作業の負担が軽減されるとともに消防施設や歩道の利用、平成30年1月下旬のような大雪による孤立の解消など安全性と利便性が向上し、消防・防災意識の高揚や交通事故防止にも繋がりました。しかし現在、除雪機を収納している倉庫は出入口が手狭であることと、倉庫奥に棚が設置してあり、出し入れの際に数回の切替しが必要であり、危険を伴うことから、開口部の間口寸法がほぼ同等ではありますが、切替しが必要ない収納庫の設置を要望されました。このような問題解決に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。具体的な事業内容は、除雪機収納庫を1基整備です。</p>	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安心安全で快適なまち《定住環境》 施策12 道路の整備</p> <p>成果目標：生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合 現状：64.6%（平成30年度実績） 目標：64.0%（令和2年度）</p>					
事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度	
	生活道路で危ない場所があると感じていると感じた市民の割合 64.0%	市民アンケートにおいて「生活道路で危ない場所があると感じている市民」項目に感じる、やや感じると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%		
			目標値	%	64	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDC Aサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	年度	年度
	除雪機収納庫の整備	活動実績	基	1		
		活動見込	基	1		
		達成度	%	100.0		
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考		
総事業費	184,800					
交付金充当額	184,800					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	184,800					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方			契約金額	
補助金交付	補助	野谷自治会（雲南市）			184,800	
	計				184,800	
交付金事業の担当課室	雲南市木次総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室	雲南市木次総合センター自治振興課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	鍋山交流センター和室床改 修工事	雲南市	1,771,000	1,771,000	総事業費 1,771,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鍋山交流センター和室床改修工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市	
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町乙加宮	
交付金事業の概要		<p>雲南市鍋山交流センターは昭和60年9月に建設されました。地域住民の活動拠点である鍋山交流センターでは、放課後子ども教室や地域福祉・生涯学習活動、各種団体の会議など子どもから高齢者まであらゆる世代が利用している状況です。鍋山交流センターを利用する方の多くは和室を使用され、施設利用全体の約3割にのびります。</p> <p>その一方で、和室内の畳は老朽化し、利用者が気持ちよく活動することを妨げており、ひいては利用者離れにつながる恐れがあります。また、長時間に渡る会議等の場面では、高齢者の身体に負担が掛かり充実した会議内容が得られない可能性があります。そこで、老朽化した畳をフローリングとし、会議机及び会議椅子を設置できる環境とすることで、地域住民が安心して利用でき、利用者増加や市民が主役のまちづくりの進展が期待されます。</p> <p>具体的な事業内容としては、老朽化した既存畳の撤去と、床フローリング（58㎡）の設置です。</p>	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策I みんなで築くまち《協働・行政経営》</p> <p>施策01 市民が主役のまちづくりの推進</p> <p>方針：●交流センターを計画的に整備し、活用していきます。</p> <p>●空き家等の地域資源を活用した活動の場づくりを推進します。</p>	
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度 令和2年度
事業期間の設定理由			

	成果目標	成果指標		単位	評価年度		
					令和3年度		
交付金事業の成果目標及び 成果実績	交流センター が活動しやすい 拠点となっている と感ずる市民の割合 (三刀屋地域) 62.0%	市民アンケート において「交流セン ターが活動し やすい拠点とな っていると感ずる 市民の割合(三刀 屋地域)」につ いての項目に、 感ずる、やや感 ずると答えた数/ 市民アンケート 回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	62		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDC Aサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
	交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和2年度	年度
鍋山交流センター和室の畳か らフローリングへの張替面積		活動実績	m ²	58			
		活動見込	m ²	58			
		達成度	%	100			

交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考
総事業費	1,771,000			
交付金充当額	1,771,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	1,771,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
施設床張替工事	指名競争入札	有限会社伊達建設（雲南市）	1,771,000	
計			1,771,000	
交付金事業の担当課室	雲南市三刀屋総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室	雲南市三刀屋総合センター自治振興課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （吉田町交流センター（吉 田・田井・民谷）防災備品 整備）事業	雲南市	2,977,590	2,977,590	総事業費 2,977,590

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（吉田町交流センター（吉田・田井・民谷）防災備品整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市吉田町吉田ほか2件	
交付金事業の概要	<p>地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、雲南市吉田町内の交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助の意識の醸成を図ります。</p> <p>今年度についても、長期に渡り避難所生活を送る事態を想定し、避難所生活において避難者の健康を守るための対策を重視します。それぞれのライフステージ等に応じて、避難所において「避難者の健康が維持されること」を目指し、各地域の状況に即した備品を追加整備します。</p> <p>また、平成30年7月に発生した西日本豪雨の実態やこれまで整備した備品を利用した訓練の実態を踏まえて備品を追加整備します。</p> <p>このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。</p> <p>各交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <p>1) 吉田交流センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイコンロ・グッドシェフ 3台 ・防災用マルチルーム 5張 ・X trada X5ヘッドライト 5個 ・多機能ラジオライト 4台 ・ユニットイレ・安心 4台 ・ベンリーテント 4張 ・災害用備蓄マット10枚入 3箱 ・災害&防災専用テント 1台 	

	<p>2) 田井交流センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害緊急避難用マットマイルディシート 15巻 ・クイックパーテーション 17台 ・LED強カライト 30個 ・COB LED搭載ヘッドライト 5個 ・小型ヘッドライト 35個 <p>3) 民谷交流センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災用マルチルーム 6張 ・エアーマット暖 防災備蓄20個セット 2セット ・カプセルテント砂袋(4袋付き) 6個 ・発電機 1台 		
<p>交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>令和2年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p style="padding-left: 20px;">施策目標：災害に対する家庭での備えをしている市民の割合</p> <p style="padding-left: 40px;">現状 30.1%（平成30年度実績）</p> <p style="padding-left: 40px;">目標 32.0%（令和2年度）</p>		
<p>事業開始年度</p>	<p>令和2年度</p>	<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和2年度</p>
<p>事業期間の設定理由</p>			

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度		
	災害に対する 家庭内での備 えをしている 市民の割合 32.0%	市民アンケート において 「災害に対す る家庭での備 え」について の項目に、し ていると答え た数／市民ア ンケート回答 者数	成果実績	%			
			目標値	%	32		
			達成度	%			
評価年度の設定理由							
毎年度のPDC Aサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
交付金事業の定性的な成果及び評価等							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	吉田町地域自主組織への防災 備品整備数	活動実績		点	62	96	146
		活動見込		点	62	96	146
		達成度		%	100.0	100.0	100.0

交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
総事業費	2,940,192	2,926,281	2,977,590	
交付金充当額	2,940,192	2,926,281	2,977,590	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	2,940,192	2,926,281	2,977,590	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
補助金交付	補助	吉田地区振興協議会（雲南市）	964,590	
補助金交付	補助	民谷地区振興協議会（雲南市）	518,980	
補助金交付	補助	田井地区振興協議会（雲南市）	1,494,020	
	計		2,977,590	
交付金事業の担当課室	雲南市吉田総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室	雲南市吉田総合センター自治振興課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	掛合町防災備品・備蓄倉庫 整備事業	雲南市	1,133,000	1,133,000	総事業費 1,133,000円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	掛合町防災備品・備蓄倉庫整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市掛合町掛合	
交付金事業の概要	<p>雲南市掛合町は山あい集落が散在し、その周りを急傾斜地（土砂災害警戒区域）に指定されている区域が多く、降水量や積雪量が多くなると土砂崩れ等の災害発生が心配されます。特に土砂崩れが発生すると、家屋の倒壊だけでなく生活道路が分断され、孤立してしまう世帯や集落が発生する可能性も大いにあります。そのような中で住民の防災への意識は高く、自主防災組織の結成や防災・想定訓練に積極的に取り組んでいます。</p> <p>そのような活動の際に大型地図やハザードマップ、現場の情報（写真）の提供を強く要望されますが、それらは災害時にも必要不可欠であることから、必要な機材を整備し、防災備品を一括管理できる物置を整備することが望まれています。</p> <p>そこで交付金を活用し、災害対策の拠点となり現場の情報が集まる雲南市掛合総合センターに大型プリンターやデジタルカメラを整備し、効率的に備蓄品を管理することで台風シーズンや降雪の時期に備えて防災体制の強化を図るものです。</p> <p>雲南市掛合総合センターに整備する防災備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大判プリンター 一式 ・デジタルカメラ 2台 ・備蓄用物置 一式 	

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち《定住環境》 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 施策目標：災害に対する家庭での備えをしている市民の割合 現状 30.1%（平成30年度実績） 目標 32.0%（令和2年度）</p>						
<p>事業開始年度</p>	<p>令和2年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>		<p>令和2年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>							
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和3年度</p>		
	<p>災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 32.0%</p>	<p>市民アンケートにおいて「災害に対する家庭での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数</p>	<p>成果実績</p>	<p>%</p>			
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>32</p>		
			<p>達成度</p>	<p>%</p>			
	<p>評価年度の設定理由</p>						
	<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。</p>						
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>						
	<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>							
<p>交付金事業の活動指標及び活動実績</p>	<p>活動指標</p>			<p>単位</p>	<p>令和元年度</p>	<p>令和2年度</p>	<p>年度</p>
	<p>掛合町掛合総合センターへの防災備品整備数</p>		<p>活動実績</p>	<p>点</p>	<p>255</p>	<p>4</p>	
			<p>活動見込</p>	<p>点</p>	<p>255</p>	<p>4</p>	
			<p>達成度</p>	<p>%</p>	<p>100.0</p>	<p>100.0</p>	

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	年度	備考
総事業費	3,905,000	1,133,000		
交付金充当額	3,905,000	1,133,000		
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	3,905,000	1,133,000		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
掛合総合センターへの防災に係る備品の整備	指名競争入札	土江文房具店（雲南市）	1,133,000	
計			1,133,000	
交付金事業の担当課室	雲南市掛合総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室	雲南市掛合総合センター自治振興課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	森脇堰用水路修繕事業	雲南市	737,000	737,000	総事業費 737,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	森脇堰用水路修繕事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	島根県雲南市掛合町多根	
交付金事業の概要	<p>雲南市掛合町多根地区で三刀屋川からひいている農業用用水路が、近年の出水による破損や経年劣化により十分な取水ができなくなっています。また、法面が泥のため崩れたり歩きにくい状況があり、高齢化する農業の担い手の負担にもなっています。</p> <p>用水路の修繕により、農作物（畑）へ安定的に水の供給ができるようにし、用水路法面をコンクリート張りにすることにより、高齢者の草刈り等の管理業務に係る負担を軽減し、安全に効率よく農作業ができるようにします。修繕工事の概要は下記のとおりです。</p> <p>森脇堰用水路（雲南市多根地内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水路壁面修繕 2か所（0.15m×0.55m×2.1m、0.15m×0.55m×2.1m） ・用水路法面張りコンクリート t=10cm w=1.47～0.50m L=24m 	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅴ 挑戦し活力を産みだすまち<<産業>> 施策34 農業の振興 農業基盤の整備・保全					
事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度	
	壁面修繕及び法面張りコンクリート施工が必要な森脇堰用水路延長における対策済延長の割合（%）	（森脇堰用水路の壁面修繕＋法面張りコンクリート施工済延長（m））／（森脇堰用水路の壁面修繕＋法面張りコンクリート施工必要箇所延長（m））×100（%）	成果実績	%	100.0	
			目標値	%	100.0	
			達成度	%	100.0	
	評価年度の設定理由					
	事業完了後、速やかに評価を実施するため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	年度	年度
	用水路法面張りコンクリート延長	活動実績	m	24		
		活動見込	m	24		
		達成度	%	100.0		
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考		
総事業費	737,000					
交付金充当額	737,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	737,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
用水路の修繕		指名競争入札		株式会社中澤建設（雲南市）		737,000
計						
交付金事業の担当課室		雲南市掛合総合センター自治振興課				
交付金事業の評価課室		雲南市掛合総合センター自治振興課				

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	成畑生活改善センター横用 水路改修工事	雲南市	1,175,900	1,175,900	総事業費 1,184,700

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	成畑生活改善センター横用水路改修工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市	
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町古城	
交付金事業の概要		<p>雲南市三刀屋町古城にある成畑生活改善センターは災害時に地元の避難所として利用されています。成畑生活改善センター横の農業用用水路について、近年老朽化により用水路としての機能が低下しており、大雨等により水量が増すと越水し成畑生活改善センター周辺が浸水する恐れがあり、利用者に危険が及んでいます。</p> <p>安定した農業用水の供給をし、また、周辺への浸水を防ぐために改修工事を行います。修繕工事の概要は下記のとおりです。</p> <p>成畑生活改善センター横用水路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暗渠排水管敷設 34m ・U字側溝敷設 32.8m ・集水枡 2か所 	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>第2次雲南市総合計画（平成27年度～令和6年度）※後期基本計画 令和2年度～令和6年度</p> <p>政策：II安全・安心で快適なまち《定住環境》</p> <p>施策：16消防・防災対策の推進</p> <p>方針：危険箇所の点検等により、国・県と連携し防災施設を整備するとともに、河川等の適切な維持管理に努めます。</p>	
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度 令和2年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	成畑生活改善センター横用水路改修工事により用水路機能が改善する水路延長の割合 63%	成畑生活改善センター横用水路の改修延長／用水路の総延長 (34m/54m)	成果実績	%	63.0		
			目標値	%	63.0		
			達成度	%	100.0		
評価年度の設定理由							
事業完了後、速やかに評価を実施するため。							
交付金事業の定性的な成果及び評価等							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和2年度	年度	年度
	成畑生活改善センター横用水路の改修延長		活動実績	m	34.0		
			活動見込	m	34.0		
			達成度	%	100.0		

交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考
総事業費	1,184,700			
交付金充当額	1,175,900			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	1,175,900			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
水路の改修	指名競争入札	有限会社別所土建（雲南市）	1,184,700	
計				
交付金事業の担当課室	雲南市三刀屋総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室	雲南市三刀屋総合センター自治振興課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金 （門自治会ゴミ集積倉庫及 び集会所改修工事）事業	雲南市	1,335,400	1,335,400	総事業費 1,335,400

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（門自治会ゴミ集積倉庫及び集会所改修工事）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	島根県雲南市木次町平田	
交付金事業の概要	<p>門自治会は、雲南市の中山間部に位置する地域であり、会員数29名（13世帯）・高齢化率58.62%（令和2年3月31日現在）となっており、高齢化が進んでいる状況です。</p> <p>当自治会集会所は、（発電所の社宅の）中古材を利用し昭和58年（1983年）に自治会活動の拠点として、また自治会内唯一の交流場所として整備され、初期の災害時には自治会内での一時避難場所としても利用されています。</p> <p>平成24年（2012年）には築30年が経過、老朽化が進み修繕を必要とする箇所が顕在化したため、当補助金を活用し屋根や台所の補修、部屋の拡張などの施設改修が行われ自治会内での一時避難の場所として、また、自治会唯一の交流場所としてより安心・安全な集会所となりました。しかし、築37年が経過した現在では、特に畳や電気設備（室内照明）等が建設当時からそのまま使用されており、経年劣化により早急な対応が必要な状況です。</p> <p>一方、自治会集会所横に隣接されているゴミ集積倉庫についても自治会集会所と同様に昭和58年（1983年）に設置され自治会内のゴミ集積場と自治会内の備品倉庫として利用されています。</p> <p>しかし、ゴミ集積倉庫は自治会集会所と同様に木造であり、現在では築37年が経過し今後腐朽の恐れもあり、また昨年度から今年度にかけて周辺地域では有害鳥獣による農作物被害などが相次ぎ、当自治会のゴミ集積倉庫も近年、屋根と壁の隙間から鳥獣が入り荒らされることが度々ありました。</p> <p>これにより自治会内の衛生環境の充実のため、基礎部分については鳥獣に荒らされることがなく、また、自然環境の影響による腐朽が少ない精強で衛生的なコンクリート基礎をした倉庫への改修を希望されました。</p>	

	<p>以上のことから、自治会集会所の改修とゴミ集積倉庫の改修をすることにより、自治会内の衛生環境の充実、有害鳥獣などの被害による負担軽減や災害時初期の一時避難場所としての機能維持を確保することができ、より安心・安全な自治会の中心拠点としての更なる利用が見込めます。</p> <p>については、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。具体的な事業内容は、コンクリート基礎によるゴミ集積倉庫の改修と集会所の修繕（照明等の電気設備改修と欄間及び畳の更新）をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ集積倉庫の改修 <ul style="list-style-type: none"> 基礎工事（8.0㎡）、木工事、板金工事、金属製建具工事 ・集会所の修繕 <ul style="list-style-type: none"> 木工事、電気設備工事、内装工事（畳12枚）、木製建具工事（ワーロン欄間2組） 		
<p>交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>第2次雲南市総合計画（平成27年度～令和6年度）※後期基本計画 令和2年度～令和6年度</p> <p>政策Ⅰ みんなで築くまち《協働・行政経営》</p> <p> 施策1 市民が主役のまちづくりの推進</p> <p> 方針 あらゆる市民・団体等が活動に参加できる環境をつくります。</p> <p>過去1年間に地域活動に参加した市民の割合</p> <p>現状：73.2%（令和元年度実績）（木次地域）</p> <p>目標：75.0%（令和2年度）（市民）</p>		
<p>事業開始年度</p>	<p>令和2年度</p>	<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和2年度</p>
<p>事業期間の設定理由</p>			

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度			
	過去1年間に地域活動に参加した市民（木次地域）の割合 75.0%	市民アンケートにおいて「過去1年間に地域活動に参加した市民」項目にあると答えた数(木次地域) / 市民アンケート回答者数(木次地域)	成果実績		%			
			目標値		%	75.0		
			達成度		%			
評価年度の設定理由								
毎年度のPDC Aサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。								
交付金事業の定性的な成果及び評価等								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和2年度	年度	年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ集積倉庫改修 ・集会所改修 		活動実績	件	2			
			活動見込	件	2			
			達成度	%	100.0			

交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考
総事業費	1,335,400			
交付金充当額	1,335,400			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	1,335,400			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
補助金交付	補助	門自治会（雲南市）	1,335,400	
	計		1,335,400	
交付金事業の担当課室	雲南市木次総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室	雲南市木次総合センター自治振興課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業	雲南市	1,540,000	1,540,000	総事業費 1,540,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市	
交付金事業実施場所	雲南市加茂町加茂中 外39か所		
交付金事業の概要	<p>雲南市民バスは、現在30路線、161便／1日運行しており、バス停留所が市内全域に約450箇所を設置されています。このバス停留所に設置している標識柱は、バスの乗降場所、時刻及び行き先等を掲示し利用者に示すものであるため、利用する上で必須です。しかし、経年劣化による老朽化により、朽ち果てている箇所や標識柱が無い箇所等が存在しています。このことから、老朽化したバス停留所標識柱について40基の更新を実施します。</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第2次雲南市総合計画（平成27年度～令和6年度）※後期基本計画 令和2年度～令和6年度 政策：II安全・安心で快適なまち《定住環境》 施策：13公共交通ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりと連携した持続可能な公共交通体系を構築し、公共交通機関の利用促進を図ります。 ・既存の交通網の整備を図るとともに、多様な交通手段の提供により、利用者の利便性を確保します。 <p>施策目標 市内の公共交通サービス機関（バス・JR・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合 現状 48.5%（令和元年度） 目標 56.0%（令和2年度）</p>		
事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由			

	成果目標	成果指標		単位	評価年度			
							令和3年度	
交付金事業の成果目標及び 成果実績	市内の公共交通サービス機 関（バス・J R・だんだん タクシー・デ マンド型乗合 バス）に満足 している市民 の割合 56.0%	市民アンケ ートにおいて 「市民の公共 交通サービス に満足してい る」項目に満 足、多少満足 と答えた数/ 市民アンケ ート回答者数	成果実績	%				
			目標値	%		56.0		
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	毎年度の市民アンケート結果を事務事業評価に反映して事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
	交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民バス標識柱の更新数		活動実績	基	28	16	40		
		活動見込	基	28	16	40		
		達成度	%	100.0	100.0	100.0		

交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
総事業費	1,036,800	649,000	1,540,000	
交付金充当額	1,036,800	649,000	1,540,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	1,036,800	649,000	1,540,000	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
バス停留所の標識の製作及び設置	一般競争入札	有限会社サンユウ工芸（雲南市）	1,540,000	
計				
交付金事業の担当課室	雲南市役所 政策企画部 うんなん暮らし推進課			
交付金事業の評価課室	雲南市役所 政策企画部 地域振興課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	大仁農道舗装改修工事	奥出雲町	4,435,000	4,435,000	総事業費 7,323,800

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大仁農道舗装改修工事					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		奥出雲町					
交付金事業実施場所		奥出雲町亀嵩					
交付金事業の概要		<p>昭和47年より島根県において着手、昭和61年に完成、平成3年に本町に譲与された大仁農道は、仁多地域と横田地域を縦断する道路であり、また県庁所在地である松江市への最短ルートでもあるため、生活道路としての利用も多い道路ですが、経年による舗装の劣化が著しい箇所があり、通行車両への影響が発生しているなど、交通に支障をきたしている状況です。</p> <p>このため、舗装劣化が著しい箇所の舗装整備が必要なため、本交付金を活用し舗装整備を行います。</p> <p>（令和2年度施工内容） 施工延長 L=200m、 舗装打換え工 A=1,273m²</p>					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>奥出雲町総合計画（平成23年度～平成32年度） 第3部 基本計画 第3章 潤いにあふれた笑顔で暮らせるまち 第2節 安全で快適に暮らせるまちづくり 第4 生活基盤整備の推進 1道路網の整備 住民の利便性の向上や生活環境の改善を図るため、地域住民の協力を得ながら計画的に道路改良整備を推進します。</p>					
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和2年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
		大仁農道における、安全で快適に通行できる実延長と大仁農道総延長の割合 77.0%	（路面にひび割れ等がなく安全で快適に通行できる実延長）÷（総延長）×100	成果実績	%	77.0	
				目標値	%	77.0	
				達成度	%	100.0	

		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度末期に評価を実施。				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		-				
		評価に係る第三者機関等の活用の有無				
		無				
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	舗装改修の延長	活動実績	m	160	220	200
		活動見込	m	160	210	200
		達成度	%	100.0	104.8	100.0
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年	令和2年度	備考		
総事業費	7,592,400	7,999,200	7,323,800			
交付金充当額	4,413,000	4,400,000	4,435,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,413,000	4,400,000	4,435,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
大仁農道舗装改修工事		指名競争入札		雲南建設株式会社（雲南市）		7,323,800
		計				
交付金事業の担当課室	奥出雲町農林土木課					
交付金事業の評価課室	奥出雲町農林土木課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	町道頓原長谷線舗装修繕工 事	飯南町	6,256,000	6,256,000	総事業費 6,276,600円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道頓原長谷線舗装修繕工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		飯南町	
交付金事業実施場所		飯南町長谷	
交付金事業の概要	<p>町道頓原長谷線は、来島ダム施設の上流部に位置し、周辺集落の人々にとって集落と集落を繋いだり、通勤、バスでの通学、役場、病院、買い物をするためなどに使ったりする大切な生活道になっております。しかし、幅員3.6～20.5mの町道で、町道認定から30年以上経過しておりますが、長年、舗装修繕歴はありません。そのため、アスファルト舗装の老朽化が著しく、クラック及び表層の局部的剥離が恒常的に繰り返しているため、走行中の車の振動や舗装の表層に注意が向き通行に支障をきたしております。その上、外側線もありません。</p> <p>そのため、特に高齢ドライバーには運転しづらい路線状況となっております。</p> <p>上記のように、長期的に修繕が必要な状況にあるため、平成30年度～令和4年度まで修繕を予定しており、住民の要望を聞きながら、必要な箇所を修繕しています。</p> <p>令和4年度までに舗装改善を目指し、今後も継続して地域住民のための生活が豊かになるように努めていきます。周知の方法は看板設置や広報誌での掲載を考えております。</p> <p>令和2年度実施内容： 修繕必要箇所2,000mのうち、412m部分の舗装工(オーバーレイ工) A=1,971.5㎡、 区画線工(実線 L=824m)</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第2次飯南町総合振興計画（平成27年度～平成32年度） 基本施策5-2：生活基盤の整備 施策77：生活道の整備と安全確保 生活の基盤である道路網について、機能に応じた整備を計画的に行います。</p>		
事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由			

	成果目標	成果指標		単位	評価年度			
					令和2年度			
交付金事業の成果目標及び 成果実績	町道頓原長谷 線における安 全に通行でき る道路の割合 89%	町道頓原長谷 線における舗 装修繕により 安全に通行で きる延長/町道 頓原長谷線総 延長の割合 (%)	成果実績	%	89.0			
			目標値	%	89.0			
			達成度	%	100.0			
	評価年度の設定理由							
	毎年度PDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度末期に評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無								
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	町道頓原長谷線の舗装修繕延 長		活動実績	m	406.3	439.2	412.0	
			活動見込	m	400.0	439.2	412.0	
			達成度	%	101.6	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備 考				
総事業費	6,483,240	6,288,840	6,276,600	令和2年度までの総事業費 19,048,680円				
交付金充当額	6,255,000	6,257,000	6,256,000					
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	6,255,000	6,257,000	6,256,000					

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
町道頓原長谷線舗装修繕工事	指名競争入札	田村工業(有) (飯南町)	6,276,600
計			
交付金事業の担当課室	飯南町役場 建設課		
交付金事業の評価課室	飯南町役場 建設課		

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	ゴールデンユートピアおお ち維持運営事業	美郷町	10,223,000	10,223,000	総事業費 13,333,333円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ゴールデンユートピアおおち維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美郷町
交付金事業実施場所		美郷町粕湊
交付金事業の概要	<p>ゴールデンユートピアおおちは、平成元年に旧邑智町の第3次長期総合計画の先導開発事業として位置付けられ、平成2年に旧自治省のリーディングプロジェクト事業（長寿社会対策）の採択を受けて平成2年度～平成6年度にかけて健康センター、スポーツセンター、交流センター及び高齢者センター等から構成される町民の健康づくりや健康増進、軽スポーツ、創作活動の場を提供する施設として、総事業費24億円をかけて建設されました。当時の総合計画にもあるようにゴールデンユートピアの建設に当たっては「町民誰もが長寿を喜び合い健康が楽しい暮らしづくり」「町民誰もが資源と技術と知恵を生かした生きがい創造に向けた産業おこし」「町民誰もが世代や地域を超えてふれあい学び合う交流による活力ある町づくり」という3つの基本目標を掲げています。とりわけ、長寿・健康という概念においては、オープン当初から療育音楽健康づくり教室や水中運動教室といった高齢者に特化し、施設利用を生かした今で言う介護予防教室を先駆的に実施しており、平成12年の介護保険制度導入後も引き続き町の介護予防事業として定着しております。平成16年10月に旧邑智町と旧大和村とが合併し美郷町になってからも町の介護予防事業、健康づくり事業の拠点として位置づけられ、旧大和村の方からの参加者も増えていく中で、健康指導や運動指導に携わる職員も資格取得や研修を行いスキルアップを図って来ております。このゴールデンユートピアおおちも平成18年度から指定管理者制度による指定管理を受けて一般財団法人美郷町開発公社が管理運営していますが、開館から20年以上が経過し、施設の老朽化等があり、施設維持にも年々経費が増える中でも、町民にとっては最も関心が高い健康維持・増進を図るためにはなくてはならない施設であり、施設として安全で安定的な運営が求められています。</p> <p>本交付金は町が所有する上記施設の管理運営について、一般財団法人美郷町開発公社と指定管理の基本協定書（平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間）に基づき、その管理委託料年額40,000千円の内、令和2年10月から令和3年1月分の管理委託料13,333,333円に本交付金を充当します。</p> <p>このゴールデンユートピアおおち維持運営事業においては、町の広報誌等で電源立地地域対策交付金が使われていることを周知するとともに、町民の健康志向と生きがいに対する健康増進の拠点施設として今後も利用者の維持・拡大を図ります。</p>	

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>○交付金事業に関する主要政策・施策： 美郷町第2次長期総合計画（平成28年度～平成32年度） 基本計画IV 健康 福祉 生涯を通じて健康で安心できるまち IV-1 保健・医療の充実 ・「一人ひとりがいきいき、みんなが笑顔でつながる健康な町」を基本理念とし、疾病や障がい・加齢などに左右されず健やかで自立した幸せな生活ができる期間、いわゆる「健康寿命」のさらなる延伸や生活の質の向上をめざし、具体的な健康行動をおこす町民が増えることを目指します。</p> <p>○目標：75歳以上の年齢調整要介護者割合（要介護2～5）の現状値（男性12.4%、女性15.6%）維持（平成32年度）</p>				
<p>事業開始年度</p>	<p>令和2年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>		<p>令和2年度</p>
<p>事業期間の設定理由</p>					
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標 各種教室登録者に対して実施するアンケート調査において、自身の介護予防や健康づくりに役立っていると感じた人の割合90%</p>	<p>成果指標 教室の内容が満足と思った参加者／各教室の参加者</p>	<p>成果実績</p>	<p>単位 %</p>	<p>評価年度 令和2年度 98.4 90.0 109.3</p>

評価年度の設定理由						
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業終了後、早期に評価を実施						
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
<p>ゴールデンユートピアおおちで行っている「コロナなんかに負けるな健康運動教室(旧：ニコニコ運動教室)」と「療育音楽教室」の参加者からのアンケート回答では両教室とも目標値を上回る回答が得られました。例年の回答と同様に、健康増進目的で参加しているが、友人との交流による外出支援や生きがい対策としての効果も得られている結果となっています。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により年度当初は施設が休館しており、各教室の開催が遅れたりもありましたが、参加者からは多くの高評価を得られたことは今後につながると感じています。</p>						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	介護予防教室（水中運動教室）の開催回数 1ヶ月16日（週4日開催×4週）×4ヶ月（交付金対象期間）	活動実績	回	93	59	60
		活動見込	回	96	96	64
		達成度	%	96.9	61.5	93.8
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費	20,000,000	20,000,000	13,333,333			
交付金充当額	10,628,000	10,877,000	10,223,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	10,628,000	10,877,000	10,223,000			

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
ゴールデンユートピアおおちの 管理運営	随意契約(特命)	一般社団法人 美郷町開発公社 (美郷町)	13,333,333 (4カ月分)
計			13,333,333
交付金事業の担当課室	美郷町企画財政課		
交付金事業の評価課室	美郷町企画財政課		

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	道路維持機械購入事業	津和野町	4,538,000	4,538,000	総事業費 5,090,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	道路維持機械購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		津和野町		
交付金事業実施場所		津和野町枕瀬		
交付金事業の概要		<p>津和野町は、津和野町公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設(町道等)の維持管理を行っています。現在、維持管理に使用している町有ミニ油圧ショベルは平成14年に購入したものであり、耐用年数の6年を大きく過ぎていることから、老朽化により修繕に要する費用および日数が増加し、作業が非効率化しています。交付金を活用して機体を購入し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。また併せて、作業用具運搬用の軽トラックを購入し、併用することでさらなる効率化を図ります。</p> <p>令和2年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ油圧ショベル(バケット容量0.09m³/ディーゼル) 1台購入(更新) ・軽トラック(660cc/セレクトタイプ4WD) 1台購入(新規) 		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】</p> <p>津和野町公共施設等総合管理計画</p> <p>第6 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針</p> <p>2 インフラ</p> <p>(1) 道路 : 日々の管理については、ライフサイクルコストの縮減を目指して点検・診断・保全を行い、安全確保にも努めます。</p>		
事業開始年度		令和2年度	事業終了(予定)年度	令和2年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和3年度
	ライフサイクルコストの 縮減 (道路維持機械年間修 繕費30%削減)	100-{修繕費(令和3 年度)÷修繕費(平 成31年度)×100}	成果実績	%				
			目標値	%				30.0
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	年度	年度	
	道路維持機械購入台数		活動実績	台	2			
			活動見込	台	2			
			達成度	%	100.0			
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考				
総事業費	5,090,000							
交付金充当額	4,538,000							
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	4,538,000							
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
ミニ油圧ショベル購入		指名競争入札		株式会社原商 益田支店(益田市)		3,795,000		
軽トラック購入		指名競争入札		有限会社津和野モータース(津和野町)		1,295,000		
		計				5,090,000		
交付金事業の担当課室	津和野町建設課							
交付金事業の評価課室	津和野町建設課							

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設 に係る整 備、維持補 修又は維持 運営等措置	学校教育用施設備品整備事業	吉賀町	2,200,000	2,200,000	総事業費 2,838,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	学校教育用施設備品整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町
交付金事業実施場所	柿木小学校（吉賀町柿木村柿木）	
交付金事業の概要	<p>遊具は、使用する児童生徒の遊びの創造性を高める一助となり得るがその使用方法と遊具の劣化状況によっては重大な事故につながる可能性もあり、安全点検結果に基づく整備を進める必要があります。しかし、平成29年度実施した、学校遊具安全点検事業において、多数の遊具の劣化判定が「C（最低評価）」という結果になりました。</p> <p>柿木小学校の複合遊具は特に劣化が激しく使用禁止レベルであり、早急に撤去し、新たに遊具を設置する必要があります。</p> <p>また、町内小中学校のプールにおいても、経年劣化によりプール活動を安全に行うことができなくなっており、必要に応じて修繕等の整備が必要です。特に柿木小学校のプールサイドにはコンクリートに亀裂が入っており、安全性を確保するためマットを敷設します。</p> <p>これらにより遊具の安全が確保され、児童・生徒の遊びや学習の環境を充実させることにより、児童・生徒の創造性、主体性の育み、身体的、精神的、社会面の発達を促します。</p> <p>令和2年度の事業内容 複合遊具の撤去、すべり台1基設置 プールサイドマット設置</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>吉賀町教育振興計画（平成28年4月～平成33年3月）</p> <p>基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした、明日の吉賀町を支える人材育成」</p> <p>4. 学習環境の構築と支援体制の整備</p> <p>1) 学びに適した学習環境の構築</p> <p>(2) 学校配置及び学校施設整備</p> <p>具体策：補助金を活用した教材・遊具等の整備</p>	

事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	H29年度遊具の安全点検において修繕すべき箇所数に対して、修繕を実施した箇所数の割合をH31年度の36.5%から38.5%に引き上げる。	遊具の修繕を実施した箇所数÷H29年度の遊具の安全点検において修繕すべき箇所数	成果実績	%	38.5	
			目標値	%	38.5	
			達成度	%	100.0	
	評価年度の設定理由					
	劣化状況を踏まえた整備を実施し、学校環境の改善を図るため、毎年度評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和2年度	
	危険遊具の更新台数	活動実績		台	1	
		活動見込		台	1	
		達成度		%	100.0	

交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
総事業費	5,583,600	2,477,200	2,838,000	
交付金充当額	4,000,000	2,477,200	2,200,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,000,000	2,477,200	2,200,000	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
遊具更新工事	指名競争入札	有限会社宗正建設（吉賀町）	1,771,000	
プールサイドマット設置	指名競争入札	有限会社宗正建設（吉賀町）	1,067,000	
計			2,838,000	
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会			
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会			

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設 に係る整 備、維持補 修又は維持 運営等措置	学校環境改善用施設備品整備事 業	吉賀町	1,000,000	1,000,000	総事業費 1,197,020

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	学校環境改善用施設備品整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町	
交付金事業実施場所	七日市小学校（吉賀町七日市）、六日市中学校（吉賀町六日市）、吉賀中学校（吉賀町七日市）		
交付金事業の概要	<p>冬季の学校においては、授業環境、とりわけ温度調節において業務用石油ストーブを使用しています。しかし、経年劣化により使用できなくなるものもあり、計画的な更新が必要です。</p> <p>平成29年度の教頭会において定められた整備要望計画（令和元年度見直し）に基づき整備を進めることとし、本年度は吉賀中学校に2台、六日市中学校に1台、七日市小学校に1台石油ストーブを購入します。</p> <p>一方、夏季の学校においては、夏季休業後も猛暑日が増え暑さ対策に苦慮しており、エアコン整備が急務です。本年度は七日市小学校通級教室にエアコン1台を設置します。</p> <p>加えて、六日市中学校の特別教室において、カーテンの経年劣化により学校運営に支障をきたしていますので、遮光カーテンを整備（更新）します。</p> <p>これらにより児童・生徒の学習環境の改善を図ります。</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>吉賀町教育振興計画（平成28年4月～平成33年3月）</p> <p>基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした、明日の吉賀町を支える人材育成」</p> <p>4. 学習環境の構築と支援体制の整備</p> <p>1) 学びに適した学習環境の構築</p> <p>(2) 学校配置及び学校施設整備</p> <p>具体策：補助金を活用した教材・遊具等の整備</p>		
事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	更新及び新規整備が必要な暖房器具の割合を13.3%から0%に引き下げる	未整備台数÷ 整備を要する 台数 (30台)	成果実績	%	0.0			
			目標値	%	0.0			
			達成度	%	100.0			
	評価年度の設定理由							
	劣化状況を踏まえた整備を実施し、学校環境の改善を図るため、毎年度評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	石油ストーブの整備台数		活動実績	台	8	7	4	
			活動見込	台	8	7	4	
			達成度	%	100.0	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考	
	総事業費		358,560		629,790		1,197,020	
	交付金充当額		358,560		622,800		1,000,000	
	うち文部科学省分							
	うち経済産業省分		358,560		622,800		1,000,000	

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
エアコン設置	随意契約（少額）	北陽電気工事(株)（益田市）	770,000
カーテン整備	随意契約（少額）	古永ふとん店（吉賀町）	225,500
石油ストーブ購入	随意契約（少額）	(有)ふれあいショップのうみ（吉賀町）	201,520
計			1,197,020
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会		
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会		

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設 に係る整 備、維持補 修又は維持 運営等措置	学校給食調理場運営事業	吉賀町	1,000,000	1,000,000	総事業費 1,183,449
2	公共用施設 に係る整 備、維持補 修又は維持 運営等措置	学校給食用備品整備事業	吉賀町	200,000	200,000	総事業費 278,300

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	学校給食調理場運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町
交付金事業実施場所	六日市共同調理場（吉賀町六日市）	
交付金事業の概要	<p>吉賀町では、地方創生を実現するため、吉賀町版「まち・ひと・しごと創生吉賀町総合戦略」において、「子どもを育み、子どもと共に発展するまちを目指して」を基本理念に全町一体となってさまざまな課題に取り組んでいます。学校給食については、子育て世代の経済的負担の軽減を目的として、平成27年度からは「小中学校給食費無償化」に取り組むなど、子育て環境の充実を目指して支援しています。吉賀町では直営調理場が3箇所あり、経年劣化していく施設の修繕、調理器具の買い替えなど学校給食を提供するための経費は増加傾向となっていることに加え、調理・提供する行程においては、異物の混入がないかなど細心の注意を払いながら業務を遂行しております。より安心安全な学校給食の調理・提供を目標としてサービスの充実に努めるため、運営費(電気代)に電源立地地域対策交付金を充当します。</p> <p>令和2年度の実施内容：六日市共同調理場電気代（令和2年8月使用分～12月分使用分）</p>	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>吉賀町教育振興計画（平成28年4月～平成33年3月）</p> <p>基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした、明日の吉賀町を支える人材育成」</p> <p>1. 活力ある学校づくり</p> <p>3) 健やかな体づくり</p> <p>(3) 「食」をテーマとした生活づくり</p> <p>具体策：学校給食の自給率向上の推進、学校給食共同調理場に専属の調理場長、調理員等確保の検討</p>	

事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度	
	六日市共同調理場において、2学期中に給食を実施すべき日数のうち安全に提供できた日数の割合を100%にする。	給食を安全に提供できた日数÷給食を実施すべき日数	成果実績	%	100.0	
			目標値	%	100.0	
			達成度	%	100.0	
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後、早急に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年
	六日市共同調理場が2学期に給食を実施した日数		活動実績	日	83	83
			活動見込	日	83	83
			達成度	%	100.0	100.0

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	備考
総事業費	1,040,502	1,183,449	
交付金充当額	1,000,000	1,000,000	
うち文部科学省分			
うち経済産業省分	1,000,000	1,000,000	
交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
電気代	随意契約（特命）	JAG国際エナジー株式会社 （東京都）	1,183,449
計			1,183,449
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会		
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会		

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	学校給食用備品整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町
交付金事業実施場所	六日市共同調理場（吉賀町六日市）	
交付金事業の概要	<p>吉賀町では、地方創生を実現するため、吉賀町版「まち・ひと・しごと創生吉賀町総合戦略」において、「子どもを育み、子どもと共に発展するまちを目指して」を基本理念に全町一体となってさまざまな課題に取り組んでいます。学校給食については、子育て世代の経済的負担の軽減を目的として、平成27年度からは「小中学校給食費無償化」に取り組むなど、子育て環境の充実を目指して支援しています。吉賀町では学校給食を提供する直営調理場が3箇所ありますが、経年劣化していく施設の修繕等の経費は増加傾向となっています。そのような中、使用している調理器具等の多くが老朽化しており、計画を立てて順次更新していく必要があります。とりわけ、六日市共同調理場の製氷機については平成13年度に購入したものであり、正常に稼働していない状況が続いており、安全な食の提供に支障をきたしているため、更新を実施します。</p> <p>令和2年度の実施内容 自動製氷機 1台（更新）</p>	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>吉賀町教育振興計画（平成28年4月～平成33年3月）</p> <p>基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした、明日の吉賀町を支える人材育成」</p> <p>1. 活力ある学校づくり</p> <p>3) 健やかな体づくり</p> <p>(3) 「食」をテーマとした生活づくり</p> <p>具体策：学校給食の自給率向上の推進、学校給食共同調理場に専属の調理場長、調理員等確保の検討</p>	

事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度	令和2年度		
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	六日市共同調理場において、2学期中に給食を実施すべき日数のうち安全に提供できた日数の割合を100%にする。	給食を安全に提供できた日数÷給食を実施すべき日数	成果実績	%	100.0	
			目標値	%	100.0	
			達成度	%	100.0	
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後、早急に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和2年度	
	自動製氷機の整備台数		活動実績	台	1	
			活動見込	台	1	
			達成度	%	100.0	

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度		備考
総事業費	330,000	278,300		
交付金充当額	300,000	200,000		
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	300,000	200,000		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
製氷機購入	随意契約（少額）	新光プロパン瓦斯株式会社（吉賀町）	278,300	
計			278,300	
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会			
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会			